

平成 29年 09月 04日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書  
【平成29年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。  
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

ウッドソムリエの家

グループの名称

利根沼田若手職人の会

直近採択グループ番号

04-0160-0198

(グループ代表者)

代表者名

真下 美貴夫

代表者印

代表者所属先

有限会社真下工務店

代表者所在地

群馬県利根郡昭和村大字森下726

代表者電話番号

0278-24-6548

(グループ事務局)

事務局事業者名

株式会社関工務所

事務局担当者名

齋 綾司

印

事務局郵便番号

378-0101

事務局所在地

群馬県利根郡川場村大字谷地1950

事務局電話番号

0287-52-2239

事務局FAX

0278-52-2287

事務局担当者E-mail

sk1950@green.ocn.ne.jp



B. 平成29年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世帯同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型(長期優良住宅) 経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)		8	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		8	戸				
			上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)			戸				
		申請が未確定(上限100万円)			戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)			戸				
			上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)			戸				
	長寿命型(長期優良住宅) 未経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)		1	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		1	戸				
			上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)			戸				
		申請が未確定(上限100万円)		5	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)		5	戸				
			上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)			戸				
	高度省エネ型 (認定低炭素住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)			戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)			戸				
			上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)			戸				
		申請が未確定(上限100万円)			戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)			戸				
			上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)			戸				
	高度省エネ型 (性能向上計画認定住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)			戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)			戸				
			上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)			戸				
		申請が未確定(上限100万円)			戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)			戸				
			上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)			戸				
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	申請が確実(上限150万円)		2	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		2	戸					
		上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)			戸					
	申請が未確定(上限150万円)		0	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)		0	戸					
		上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)			戸					
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 未経験工務店(4戸(8戸)未満)による申請戸数	申請が確実(上限165万円)		1	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		1	戸					
		上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)			戸					
	申請が未確定(上限165万円)		4	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)		4	戸					
		上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)			戸					
C. 平成29年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	申請が確実	棟	/						
			m <sup>2</sup>							
		申請が未確定	棟							
			m <sup>2</sup>							
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	申請が確実なところを優先するとともに、未経験施工者が過半を占めており、その解消を目指すため優先的に配分する。									
E. 平成28年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)									
	当初予算	採択戸数	5	戸	交付申請戸数	5	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	5	戸
	補正予算	採択戸数		戸	交付申請戸数		戸	完了実績(竣工予定含む)戸数		戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)									
	当初予算	採択戸数		戸	交付申請戸数		戸	完了実績(竣工予定含む)戸数		戸
	補正予算	採択戸数		戸	交付申請戸数		戸	完了実績(竣工予定含む)戸数		戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)									
	当初予算	採択戸数		戸	交付申請戸数		戸	完了実績(竣工予定含む)戸数		戸
	補正予算	採択戸数		戸	交付申請戸数		戸	完了実績(竣工予定含む)戸数		戸
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
	当初予算	採択戸数		戸	交付申請戸数		戸	完了実績(竣工予定含む)戸数		戸
	補正予算	採択戸数		戸	交付申請戸数		戸	完了実績(竣工予定含む)戸数		戸
優良建築物型										
当初予算	採択棟数		棟	交付申請戸数		棟	完了実績(竣工予定含む)棟数		戸	
当初予算	採択床面積		m <sup>2</sup>	交付申請床面積		m <sup>2</sup>	完了実績(竣工予定含む)床面積		m <sup>2</sup>	





















1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) ウッドソムリエの家	(地域型住宅供給対象地域) 群馬県内
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 利根沼田若手職人の会	(結成年) 2012年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	04-0160-0198	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	この地域の夏は雷雨が多く冬は雪が降り、気温も氷点下10℃以下となる厳しい気候条件に耐える頑丈で省エネ性能の高い家を目指す。	○
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	この地域の豊富な森林資源と優秀な大工を活用し、これからの大工の育成と技術の継承を考え、基本的には墨付けから刻みまでを大工が行い、プレカットは最小限に抑える匠の家を目指す。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	この地域の伝統住宅に見られる茅葺の兜づくりや、蚕屋造りの軒の出のある周辺環境に配慮した家を目指す。	○
④①～③の背景	群馬県の気候は、夏は日射量が多く、最高気温が全国有数となり、冬は「空っ風」と言われ季節風が吹き荒れる南部平野部と、夏は雷雨が多く、冬は寒さが厳しく雪が降り、気温も氷点下10℃以下となる山間部に大別されます。群馬県の利根沼田地域は北部山間部に位置し沼田市、みなかみ町、片品村、川場村、昭和村で構成され県土面積の28%を占め、総面積177千haのうち林野面積は152千haで林野率は86%と高く、首都圏の水源地となっています。かつてこの地域は、養蚕が盛んであったため茅葺の兜づくりや、蚕屋づくりといった頑丈で可変性に富む伝統住宅等と田畑、里山で美しい農村風景を築いていたが、無秩序な宅地開発や都市型住宅が占めるようになりました。群馬県でも利根沼田地域は、古くから木材の町と言われたこともあり、優秀な大工も多い地域で、今でこそ大工の数は減少していますが、その伝統は受け継がれています。群馬県の木材は、主に杉、桧、唐松、赤松が構造材として、特に杉は内装材としても利用されています。利根沼田地域は、高い林野率から古くから木材の町と言われたように素材生産が盛んで、群馬県の中でも供給量が多い地域です。群馬県には、ぐんま優良木材品質認証センターが平成10年に作られ、ぐんま優良木材生産工場、ぐんま優良木材製品の認証を行っており、今では年間800棟以上の利用実績があります、利根沼田地域は、4工場が認証されています。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	地域材は、群馬県産のうち利根沼田産材をできるだけ多く使用し、この地域の林業関係者の活性化にも繋げたい。	◎
イ. 効率的な住宅生産体制の整備		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 柱は105角以上、内装材は壁・天井では12m/m以上とし、床は15m/m以上までは決まっているが、その他は引き続き検討していく。	○
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ぐんま優良木材と地元利根沼田産材構造材、内装材の使用は決まっていますが、その他は引き続き検討する。	○
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ぐんま優良木材と地元利根沼田産材の使用は決まっていますが、標準仕様書の作成は、施工構成員にはそれぞれ独自の特徴があるため、それが障害となり進んでいない状況です。	○
②-1 建材・資材調達のコスト削減	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 仕入れ先の共同化を決定し業者を決めて始めたが、思うように進んでいないのが現状です。窓口業者を増やすなど引き続き検討する。	○
②-2 調達事務の合理化	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: 調達事務については窓口業者にまかせています。	○
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 技術委員会が担当して行っていたが、進んでいないため施工業者全員に広げ、年に1回は行う。	◎
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 担当委員長と相談しながら必要に応じて研修会、勉強会の開催をし、推進の後押しをする。	◎
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施工構成員・設計構成員全員が「住宅省エネルギー講習会」修了者であり、施工構成員全員が自社大工の利点を生かし、急を要する措置や修繕、クレームにも迅速に対応できるためその技術力を外部に向けて発信する。	◎
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 統一用紙の自主完成検査とともに瑕疵保証保険検査、ぐんま優良木材認証センター検査結果を事務局に報告する。	◎
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅履歴情報登録機関の共有化を図り、コスト削減と信頼性の確保を行う。設計申請料率の作成と提示を行い内容を分かりやすくする。	○
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 地盤調査を実施し、応償補償保険に入るなど適切な対応を図る。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	グループ内の施工構成員・木材流通・製材構成員が、地元建築組合青年部と地元木材組合青年部と共に毎年行っている木工広場を通し、若手大工の勉強の場である利根沼田地域高等職業訓練校、群馬県立利根実業高等学校と技術指導を含め交流を継続する。	◎

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) ウッドソムリエの家	(地域型住宅供給対象地域) 群馬県内
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 利根沼田若手職人の会	(結成年) 2012 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0160-0198	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は○印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。  
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	① 住宅履歴情報の蓄積	
①-1	内容・蓄積の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 情報サービス機関を共有化し、データの蓄積を計っている。	◎
①-2	情報サービス機関の活用 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: いえかて正会員である㈱プロパティオンに入社を義務付け、サービス共有をしている。	◎
①-3	履歴情報蓄積の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 登録状況を事務局が確認している。	◎
②	メンテナンス基準の整備	
②-1	点検の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ独自の点検リフォーム表を作成しており、定期点検のときに住まい手が修理、リフォームを判断しやすくする。	◎
②-2	補修の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 維持管理計画により計画的に補修を行う。	○
②-3	点検補修実施の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 情報サービス機関の点検お知らせサービスと、年数回ある施工者会議にて確認する。	◎
③	住まいの管理	
③-1	住まい管理勉強会の実施 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 先ずはグループ内の意識を高めるため住宅関連のイベントへの参加を促します。	○
③-2	DIY体験会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 毎年夏休みの最終土日曜日に、地元の木材組合青年部・建築組合青年部と共催している木工広場を利用し、多くのお客様に地域住宅の良さを広めると共に、住まい手にも案内を出し、大工である施工員が講師となり木工体験を通して交流を図る。	◎
③-3	その他の相談会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施工員が中心となり、構造見学会又は完成見学会を年1回以上行い、仕事の確保と住まいの管理の相談を受ける。	◎
④	維持管理委員会等の設置 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施工員による年に数回ある施工者会議で議題にのせる。	○
⑤	その他の維持管理の手法 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: グループで既存顧客向けに住まいの管理相談会の開催を検討して行きたい。	○
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 各自瑕疵保証保険には必ず全棟加入すると共に、廃業、倒産した事業者の物件に瑕疵が発生した場合、施工員が中心となりグループ員が引き継ぎ、その後のメンテナンスも行う。	◎
②	過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループで行っている外部講師を招いての研修会にて検討する。	○
その他	※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。 いえかて正会員の(株)プロパティオンへ情報蓄積を頼んでおり、施工員の義務化として情報管理とサービスの共通化をしている。	◎

エ. グループの技術力の向上

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 当グループには小規模施工者が多いこともあり、地域型住宅の未経験施工者が半数以上を占めているため、地域型住宅の構造・完成現場研修会を開催し未経験施工者の不安を取り除き、積極的に取組めるようにサポートします。	◎
②-1	品質管理のための共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 自主完成検査の義務付けと、ぐんま優良木材使用による認証センターの検査、瑕疵保険義務付けによる検査で品質確保している。	◎
②-2	上記共通ルールが守られていることの確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 自主完成検査においては、独自のチェックシートの確認、その他の検査は合格証の確認を事務局がしている。	◎
③-1	需給計画の策定 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 毎年提出している中期活動方針報告書により確認をしている。	○
③-2	技術力向上のための中長期的な計画 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループには小規模施工者が多く、受注が不安定で経験したくてもできない施工者が多いため、未経験施工者を最優先する。グループとしてゼロエネ住宅にも取り組み、未経験施工者を無くすこと目指す。	○
④	③に基づく業種ごとの合理化の取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ内に地域住宅経験施工者、設計グループによる相談窓口を充実、住設メーカーによる研修等サポート体制の強化を図る。	◎
b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数 昨年度までの終了者数 25 今年度の参加目標人数 3 100%を目指します。	◎
①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数 昨年度までの終了者数 4 今年度の参加目標人数 2 100%を目指します。	◎	
② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施工員が多く入っている利根沼田建築相互組合や、群馬県木造住宅産業協会沼田支部といった団体で受講していない人に働きかける	○	
c	① 新たな技術等の導入 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 今年も地域型住宅未経験施工者を無くすことを最優先にするとともに、先を行く人のためにもゼロエネルギー住宅を取り組むことにした。	◎
② 新たな技術等の開発 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループの技術力の向上、新たな技術導入の可能性について勉強会を始める。	○	
その他	※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。 グループの技術力の向上、新たな技術の導入を図る為、先進技術の視察研修旅行を毎年開催しており今年度も行う。	◎

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。



1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) ウッドソムリエの家	(地域型住宅供給対象地域) 群馬県内
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 利根沼田若手職人の会	(結成年) 2012年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0160-0198	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において必ず実施する取組みの場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。  
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与

【平成29年度対応方針】

a	地域材利用に関する	ぐんま優良木材生産認証工場の2社(うち1社はJAS認定工場)が構成員となり、ぐんま優良木材の構造材と内装材を使用する。また合法木材供給事業者認定を持つ原木供給者、製材工場からも地域材の構造材と内装材を供給する。柱は105×105角以上とし、内装材の壁・天井は12mm以上とし、床は15mm以上とする。域材は主要構造材で60%使用し、内装材で9㎡以上使用する。	地	◎
①	共通ルール(必須)			
②	地域材利用の1棟当たりの割合(必須)	<input type="checkbox"/> 50%未満 <input checked="" type="checkbox"/> 50%以上 <input type="checkbox"/> 80%以上		
③	標準的な地域材の使用部位(必須)	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 主要構造材 柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 羽柄材 間柱、根太、垂木等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 造作材 枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している 板材 壁板、床板等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している		◎
④	地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明	【補足】 地域型住宅の地域材の供給の流れ ○一部、施工グループの構成員においては、手刻みによる加工を行う為、地域材の供給の流れの中で、製材・集成材、合板グループから直接購入を行う場合がある。また、一部流通グループを介さずに、地域材の調達を行う場合がある。 ○原木の一部においては、利根沼田森林管理署が管理する国有林の競争入札によって原木の調達を行う予定もある。この際、原木の出荷証明の取得は無い。 ※合法木材の一部においては、産地、出荷者が多岐にわたり原木供給者の特定が困難な場合が多々ある。このため、ぐんま優良木材認証工場による合法性の証明、及び製材・集成材・合板グループの所属する出荷者による合法性のどちらかあるいは両方の証明によって代替する。		
b	①-1 地域材在庫把握の仕組み	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ぐんま優良木材認証工場2社が問い合わせに対応する体制を整備し、会議、研修等を利用し情報を交換する。		◎
①-2 地域材価格の共有の仕組み	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 今後検討していきます。			○
② グループ全体における地域材の需給予測	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 当グループは小規模施工者が大半を占めるため、多くの量は望めないが、会員を増やしながら出来る限り推進します。			○
c	①-1 畳の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 群馬県の中には適したイグサが育たないため利用が出来ないが、国産の利用を推進します。		○
①-2 和瓦の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 群馬県内にはかつては製造する工場があったが、今ではないため、国産和瓦の利用を推進します。			○
①-3 襖の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 利用出来る限る推進します。			○
①-4 障子の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 利用出来る限る推進します。			○
②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 利根沼田地域は高い林野森を持ち、古くから木材の町と言われたように、木材生産が盛んなため、その利用を推進します。			◎
②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: この地域の豊富な森林資源の活用も考え、暖房に薪ストーブやペレットストーブを推進する。			○
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 利根沼田地域は茅葺りや蚕屋づくりといった伝統住宅が残る地域であるため、若い世代にも通用するデザインの研究を行う。		○
② 地域の住まい方の継承につながる取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 利根沼田地域は可変性に富む農家型の伝統住宅が残る地域でもあり、将来理フォームをしながら長く住み続けていく長期優良住宅と通じるところもある為、若い世代に受け入れてもらえる住まい方の研究を行う。			○
③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 各地域の街並みガイドラインを順守いたします。			○
④ 和の住まいの要素を取入れた取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 和風住宅に見られる瓦葺きや、漆喰塗り、製作建具等、若い世代に受け入れられる和風の形について研究を行う。			○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	地域型住宅の主な供給地域である利根沼田地域には、景観条例を定めている2町村があり、他地域の条例も含め順守します。			◎

カ. その他

【平成29年度対応方針】

東日本大震災の復興に資する取組	このグループでは復興支援はしていないが、個々に今でも取り組んでいるところもあるため、グループとして何が出来るか検討していきたい。	○
平成28年熊本地震の復興に資する取組	個々に義援金を予定しているところはあるが、グループとしては義援金や木工広場での募金活動等、何が出来るか検討していきたい。	○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	(地域型住宅の名称) ウッドソムリエの家	(地域型住宅供給対象地域) 群馬県内
2. グループの名称・結成年月 (必須)	(グループの名称) 利根沼田若手職人の会	(結成年) 2012 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須)	04-0160-0198	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴

※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。

※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロエネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

ゼロエネルギー住宅の特徴

3～5地域の市位広いエリアの施工グループで、寒暖差が大きく積雪もある地域区分ですが、断熱性能・気密性能・省エネ性能を高め、その中でも断熱性能(外皮性能)を重視し、採光や通風も考慮しながら快適な住宅にします。

特徴

1. 外皮性能は出来るだけランクアップ外皮を目標にする。
2. 金属建具は内部樹脂製+LOW-Eガラスを出来るだけ利用する。
3. 給湯設備は高効率エコキュートを出来るだけ利用する。
4. 照明は全灯LED照明を利用する。
5. HEMSを利用してさらに省エネ意識を作る。
6. 太陽光は出来るだけ載せ、削減率を高めるようにする。

以上をベースにしながざゼロエネルギーの基準をクリアし、さらなる省エネを目指す。